

令和7年度 第2回鳥取県国土強靱化推進評価会議 概要

【日時】 令和8年1月23日（金） 10時から11時30分

【場所】 鳥取県庁議会棟 特別会議室

【出席者】

分野	氏名	役職等	
行政	山川 泰成	鳥取市危機管理部長	出席
〃	景山 政之	日野町総務課長	
住宅・都市・環境	南波 一好	鳥取県建築士会理事	出席
保健医療・福祉	田中 響	鳥取看護大学教授	出席
エネルギー	真島 和人	中国電力(株)鳥取支社総務グループマネージャー	出席
産業・金融	倉光 千浪	倉吉商工会議所女性会	
情報通信	定道 正代	NHK鳥取放送局副局長	
物流	山崎 隆志	一般社団法人鳥取県トラック協会専務理事	出席
農業	武田 政信	鳥取県農業協同組合中央会総務部長	
国土保全・交通	裕見 吉晴	国立大学法人鳥取大学名誉教授（特任教授）：座長	出席

【概要（委員からの主な意見）】

（1）第1回評価会議での意見への対応

- ・発災直後は地域住民が避難誘導や避難所運営をせざるを得ないため、防災士等の防災リーダーの確保、社会福祉協議会や民生委員等の人材への研修等をとおして、防災力を向上させるような取組を充実させたほうが良い。[裕見座長]
- ・災害支援ナース[※]の登録者数が鳥取県は全国と比べて少なく、心のケアや避難所環境の改善、医療体制の継続に繋がるよう、登録者を増やす取組が必要ではないか。[田中委員]
※災害支援ナース…被災地等に派遣され、地域住民への看護の提供や、看護職員の心身の負担を軽減し支える人材
- ・重要業績指標（KPI）について、数値評価する項目を絞り込む見直しは良いと思う。[山川委員]
- ・支援物資輸送の強化に当たっては、物資供給等を支援するシステム（B-PLO）の利用と併せて、平時からの訓練により関係機関との連携強化が必要である。[山崎委員]

（2）鳥取県国土強靱化地域計画（第3期計画）の改定ポイント

- ・林野火災鎮火後は、樹木の焼失により保水機能等が失われるとともに、雨水の浸食による土砂災害のリスクが高まることから、予防啓発や火災発生直後の初動対応だけでなく、森林が再生するまでの施策も検討する必要があるのではないか。[山川委員]
- ・下水道の老朽化対策と併せて、避難時の安全確保の観点から、洪水時にマンホールの蓋が外れない対策も実施してはどうか。[南波委員]
- ・県の強靱化の取組みが全国と比べ進んでいるのか、指標化（可視化）できるものがあれば県民に伝わりやすくなるのではないか。[真島委員]

⇒これらの意見への対応を盛り込むことを含め、第3期計画の素案について承認いただいた。

（3）鳥取県インフラ長寿命化計画（行動計画）第2期計画の改定ポイント

- ・技術系職員の人材不足が深刻な状況の中、市町村との連携（協同事業化）や新技術導入という方向性は不可欠である。[裕見座長]

⇒第2期計画の素案について承認いただいた。

（4）今後のスケジュール

- 2月上旬～下旬：パブリックコメントの実施
- 3月中旬：第3回鳥取県国土強靱化推進評価会議
- 3月下旬：策定・公表

